

令和7年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	1 年次

- 目標**
- ・ 基礎的な知識を定着させ、4 技能を活用したコミュニケーション能力を養う。
 - ・ 身近な話題や問題にふれ、外国の文化に興味・関心を持ち、自ら学ぶ姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の基礎的な知識の理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて活用できる。	場面や状況に応じて、身近な話題について外国語で要点や意図を理解し、それらを活用して自らの意見を外国語で表現したり伝えたりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を学ぶ姿勢を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 北高検定	定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 自己評価シート 提出物

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 1 Colors of Spring be動詞・一般動詞の現在形 Lesson 2 Dick Bruna be動詞・一般動詞の過去形	・ 新出単語や語句の確認する。 ・ 本文の解説をする。 ・ 文法の確認・演習を行う。 ・ 学習した内容を使った。 ・ パフォーマンステストを行う。 ・ ALTとの会話形式の授業を行う。	・ VISTA English Communication I ・ 自作プリント ・ ユメタン単語帳 ・ ICTを活用した教材
後期	Lesson 3 Interesting Sports 現在進行形・過去進行形 Lesson 4 Pictograms 助動詞・動名詞		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

新出単語や文法、を理解したうえで、学習した内容を活用して自分の意見や考えを外国語で表現し、伝え合うことが求められる。また、失敗を恐れることなく、外国語を使って積極的に、ALTをはじめ周囲とコミュニケーションをとろうとする姿勢が大切である。基礎的な英語の知識の定着を図り、話す・聞く・読む・書くの4 技能を向上させる。

令和7年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	2 年次

- 目標**
- ・ 4 技能をバランスよく取り入れ、英語を学ぼうとする態度を育成し、基礎的な学力を養う
 - ・ 身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 北高検定	定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 提出物 自己評価

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 5 We Are Part of Nature 不定詞 Lesson 6 Machu Picchu 現在完了形 Lesson 7 Artificial Intelligence 受け身 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）	新出単語、英文読解、文法、問題演習、リスニング、音読練習 ユメタン小テスト(週1回) パフォーマンステスト 自己評価シート 振り返りシート	VISTA English Communication I ユメタン 自作プリント
後期	Lesson 8 Is There a Santa Claus? 関係代名詞 Lesson 9 Kids' Guernica 関係副詞 Lesson 10 Ethical Fashion 比較（原級・比較級・最上級） パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1 年次に引き続き、英語を話す、書く、読む力を伸ばしていきます。長文の読解、文法の演習を通して、英語の基礎力を培うと共に、それらを活用して英作文や英会話などの表現力や発信力もバランスよく養っていきます。知識だけでなく、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和7年度 英語コミュニケーションⅡ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3 単位
対象	部・年次	1・2 部	3・4 年次

目標 4 技能をバランスよく取り入れ、英語を学ぼうとする態度を育成し、基礎的な学力を養う
身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 提出物 自己評価

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 1 World Dance Performances want 人 to～の表現 how to do～の表現 Lesson 2 A Piece of Cake 間接疑問文、ifで始まる節 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）	新出単語、英文読解、文法、問題演習、リスニング、音読練習、英作文 パフォーマンステスト（年5回） 本文の小テスト 単元テストの実施 Kahoot! nearpodなどのクイズアプリ 自己評価シート	VISTA English Communication II Hyper Listening Introductory 4th Edition 自作プリント
後期	Lesson 3 Quokka 使役動詞、知覚動詞 Lesson 4 Designing Stamps 形式主語it、形式目的語it パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1・2年次での英語の授業同様、英文理解を通して演習も交え学習します。また、英単語や文法の知識をさらに伸ばし、異なる文化や価値観についても学び、知識や教養を高めていくことを目標にしています。英作文や発表活動など発信型の活動も行うので、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和7年度 論理表現Ⅰ シラバス

科目	論理表現Ⅰ	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	3 年次

- 目標**
- ・ 基本的な文法を習得し、簡単な英作文や会話を楽しむことができる
 - ・ 外国に関する本文の会話を読むことで、視野を広げる

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 北高検定	定期考査 パフォーマンステスト	発表、音読、ワークシート 提出物 自己評価（振り返り）

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson1 自己紹介【be動詞・一般動詞現在形】 Lesson2 学校生活【be動詞・一般動詞過去形】 Lesson3 芸術【未来形・基本時制】	①導入クイズ: Introductory quiz ②会話を聞く&読む: Listen to and read the dialog ③役に立つ単語とフレーズ: Learn the useful words & phrases ④役に立つ表現の練習: Practice the useful expressions ⑤トピックについて話す Let's talk about the topic ⑥文法の説明と練習問題 Grammar explanation	MY WAY Logic and Expression I (三省堂) 自作プリント
後期	Lesson4 食べ物と文化【現在完了形】 Lesson5 私たちの町へようこそ【助動詞・受動態】 Lesson6 世界旅行【不定詞】		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1・2年次の英語の授業同様、英文理解を通して演習も交え学習します。また、英単語や文法の知識をさらに伸ばし、異なる文化や価値観についても学び、知識や教養を高めていくことを目標にしています。知識だけでなく、英作文や発表活動も行うので、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和7年度 実用英会話

科目	実用英会話	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	4年次
目標	日常生活でよく使うフレーズや表現、旅行先で使える会話など実用的な表現を習得することで、英語話者とのスムーズなコミュニケーションがとれる。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	様々な場面で使う単語・表現を習得している。これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。	自国の文化と違う文化的背景を理解し、互いを尊重する気持ちをもって自分の考えを表現することができる。	ペアワークやグループワークで積極的に会話を楽しんでいる。海外の文化についてより深い知識をえようと努めている。
評価方法	定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	自己評価シート 提出物 小テスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	自己紹介・他者紹介 買い物・レストランでの会話 旅行中で必要な会話 電話表現 病院での会話 パフォーマンステスト 小テスト	・自作プリントで学習する。 ・パフォーマンステストを行う。 ・小テストで単語力をつける。 ・単元ごとに自己評価を行う。	自作プリント ユメタン
後期	ジェスチャー スーパーマーケットでの会話 ローカルフードについて 道案内の会話 小テスト パフォーマンステスト		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・場面に応じた適切な英単語・表現を使えるようになる。 ・自国の文化と違う文化的背景を理解し、互いに尊重する気持ちをもつようになる。 ・ペアワークやグループワークで積極的に会話を楽しんでいる。

令和7年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物 ふりかえりシート ふりかえりテスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 天気についての会話 ファストフード店での会話 買い物での会話 なりたい職業	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習 ロールプレイ ふりかえり	自作プリント
後期	病気の症状 体の部位 旅行の計画 道聞きと道案内 電話での会話 人の性格や特徴 よく使う英会話フレーズ練習		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取組状況、定期考査、スピーキングテスト、ふりかえり、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。パフォーマンステストでは、2人1組で行う会話形式のものと、日常生活で使用するフレーズを場面で使い分けるテストがあります。英会話に関する基本的知識を身に付け、それらを積極的に使おうとする姿勢が大切になります。

令和7年度 ベーシックイングリッシュ シラバス

科目	ベーシック・イングリッシュ	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部	1～4年次
目標	基本的な英文法を理解し、状況や目的から判断して身の周りのことや自分の意見を表現できるようになることで、グローバル社会で生きるために必要な英語力の素地を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な文法の語順や構成を理解し、使い分けることができる。また、基礎的な単語や各文法単元で必要となる動詞の活用を理解している。	場面や状況に応じて、自分の意見や考えを英語で分かりやすく伝えたり、身の周りのことを適切に表現したりすることができる。	グローバル社会に必要な素養を身に付けるため、計画的に学習できる。また、自分の学習方法を見直し、改善することができる。
評価方法	定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	自己評価シート 提出物 小テスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	現在形 過去形 進行形 長文問題 パフォーマンステスト 小テスト	・自作プリントで学習する。 ・パフォーマンステストを行う。 ・小テストで単語力をつける。 ・単元ごとに自己評価を行う。	自作プリント ユメタン
後期	未来を表す表現 不定詞 比較 長文問題 パフォーマンステスト 小テスト		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・基本的な文法の構造や訳し方を理解し、場面や時制に合わせて使い分けをできるようにしておく。
- ・各文法単元で必要となる、動詞の語形変化を理解し活用できるようにしておく。
- ・学習した文法を用いて、自分の意見や身の周りのことを表現できるようにしておく。

令和7年度 英語基礎 シラバス

科目	英語基礎	単位数 対象 部・年次	2 単位 3 部 全年次
----	------	----------------	-----------------

目標 基本的な文法事項を習得し、英語で簡単な会話を楽しむ
外国の料理や文化に触れることで視野を広げる

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	文の構造を理解して、言葉の意味を理解し、文中でのその働きを知ることで文章を読めるようにする。	文の構造を理解して、会話の中で適切な単語を用い、伝えたいことを伝えられる。	習得した文の構造や単語について、深く知りより多くを学ぼうとする。 外国の文化や料理について積極的に学ぼうとする。
評価方法	小テスト、定期考査	パフォーマンステスト	自己評価 パフォーマンス

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	基本的な文法事項 短文を読む（語順） 定型化した会話表現	小テストで定着度をはかる。 問題集に沿って進めていく。 会話表現のペア練習を行う。 パフォーマンステストを行う。	①Fast Reading Primary stage2～3(文英堂) ②自作プリント
後期	日常会話表現 調理実習：タコスorアメリカンバーガー		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業中の発表、小テスト、定期テストで評価する。さらに、習得した内容を振り返り自己評価することも含まれる。